

支倉常長フェロー報告書

提出日 2011年 12月 22日



申請者	氏名	藤原亨
	所属・職	血液分子治療学寄附講座・助教
出張期間	2011年 12月 9日 ～ 12月 14日	
渡航先	米国カリフォルニア州サンディエゴ サンディエゴコンベンションセンター	
渡航目的	学会参加・共同研究のための留学・( )	
発表演題名あるいは 共同研究課題名	Decreased expression of HOXB4 gene in Aplastic Anemia; Regulatory Interaction with GATA-2	

得られた成果など

造血不全症の代表である再生不良性貧血は特定疾患に指定されている難病であり、重症例は感染症、輸血合併症にて重篤な状態に陥ることがまれではありません。重症例に対しては、免疫抑制療法、造血幹細胞移植が行われるが、治療により一時的にハイリスクの免疫不全状態となり、その負担は決して軽くはなく、また、これらの治療がすべての症例に有効なわけではない。近年、造血幹細胞と間葉系幹細胞における転写因子 GATA-2 の発現低下が、再生不良性貧血で見られる造血細胞の減少と脂肪髄という特徴的所見をもたらすことが明らかとしました。

申請者は、再生不良性貧血患者由来の CD34 陽性細胞における GATA-2 の発現低下が、造血幹細胞の機能に重要である HOXB4 遺伝子の発現低下を引き起こすことを明らかとした。この知見を 12月 9-13日に米国サンディエゴにて開催される第 53 回米国血液学会にてポスター発表いたしました。発表を通じて他研究者から多くの意見を得ることができ、今後の研究へ有益な情報交換を行うことができました。また学会全体を通じて基礎的血液学の最新知見のみならず、臨床応用が期待される最新の研究結果について多くの発表議論がなされ、幅広い知識を得ることができた。今後の、当科における基礎的研究、実践臨床への応用につながる有意義な学会参加でありました。

